

式 辞

岐阜市立女子短期大学に入学された皆さん、本日は誠におめでとうございます。また本日はご列席いただくことが叶いませんでしたが、これまで皆さんを支えてくださったご家族や関係の方々にも、心からの感謝とお祝いの言葉をお送りしたいと思います。

皆さんご存じのように、わが国では、健康の増進や医療の発達によって人生100年という長寿社会の時代が到来しつつあり、情報分野の技術革新に支えられた人間中心の社会 Society5.0 の実現が標榜されています。また世界的には、持続可能な国際社会の実現を目指す開発目標 SDGs を掲げた努力があらゆる分野で進められています。このような将来像の中で私たちが必要となる資質・能力とはどのようなものでしょうか？

知識や情報が最も重要視された時代もありましたが、現代ではスマホなどの IT 端末を使って容易に過去の歴史やあらゆる分野の最新のデータを得ることができます。数年前の知識・技術にはすでに陳腐化しているものもあります。未来に引き継ぐべき「伝統の力」に敬意を払いつつ、近年の「革新の波」を受け入れ、さらに新しい社会を創造する、そんな力を持った若い人材が求められる時代になったと感じます。

本学では、この新しい時代をより健全な形で構築していくのに欠くことのできない「教養と専門能力を身に着けた女性人材」を育成することを目指します。2年後には皆さんが立派に社会で活躍できるよう、私たち教職員は一体となって皆さんを教育・支援していきたいと思えます。

ここで皆さんに一つ質問です。大学卒業までの「貴方の目標」はなんのでしょうか？

これから皆さんは、高校時代とは違ってより実践的で社会に役立つ専門教育も受けることができます。本を読んで知識を身につけるだけでなく、友人たちと意見を交わし、時には実践的に自らが経験することも大事です。耳学問だけではなく、身をもって経験することで初めて腹に落ちることも多いはずで、また色々な知識や教養は、体験や実践を通じて、さらに深い理解にも結びつくと思えます。

大学では、貴方の時間は全てあなた自身の「自己実現」のために使うことができます。卒業して就職すると給料という報酬が得られる一方で、貴方が所属する会社や組織のために人生の多くの時間とエネルギーを費やさなくてはなりません。若く活力の漲る青春時代に、あなた自身の「自己実現」のためだけに全ての時間を使える貴重な2年間であることを意識して大学生活を送って頂ければと

思います。

本学の全教職員も喜んで貴方たち一人ひとりの「自己実現」の過程をお手伝いさせていただきます。ただし、主役はあなた自身です。

皆さんのこれからのご健闘を期待して私の式辞といたします。

令和3年4月5日

岐阜市立女子短期大学学長 畑中重光